平成 17 年 1 月 18 日
国土交通省金沢河川国道事務所

「第 4 回 手取川水系流域委員会」の審議結果（議事速報）について

去る、平成 17 年 1 月 12 日（水）に、金沢市内で『第 4 回手取川水系流域委員会』が開催されました。会議では、事務局から『手取川の現状と課題』について、これまでに伺った質問に対する報告があった後、各委員による審議が行われました。主な意見は次のとおりです。

出席委員：以下 19 名（2 名欠席、敬称略・専門分野別五十音順） 印は会長

氏名	専門分野	所属
辻本 哲郎	河川工学	名古屋大学大学院 教授
佐野 修	自然環境(魚介類)	いしかわ動物園 飼育第二課長
中村 浩二	自然環境(生態学)	金沢大学自然計測応用研究センター 教授
中村 正博	自然環境(鳥 類)	日本野鳥の会石川県支部 事務局長
野崎 英吉	自然環境(哺乳類)	石川県環境安全部自然保護課 課長補佐
古池 博	自然環境(植 物)	石川県地域植物研究会 会長
中川 耕二	地下水・地質	北陸地盤工学研究会 前会長
藤 則雄	地下水・地質	金沢学院大学美術文化学部 教授
村島 和男	農業土木	石川県農業短期大学 教授
吉田 武雄	農業水利	石川県土地改良事業団体連合会 副会長
鹿島 博史	エネルギー	北陸電力(株)石川支店 技術部長
宮崎 光二	内水面漁業	石川県内水面漁場管理委員会 委員長
池本 良子	水 質	金沢大学工学部 助教授
車 幸治	地域社会	手取川流域開発期成同盟会会長、鶴来町長
永井 隆一	地域社会	石川県砂防協会会長、白峰村長
西田 耕豊	地域社会	石川県治水協会会長、川北町長
山崎 正夫	地域社会	手取川流域開発期成同盟会副会長、尾口村長
小堀 幸穂	地域経済	鶴来商工会 副会長
長谷川孝徳	歴史・文化・文芸・教育	石川県立歴史博物館 学芸専門員
平野 俊也	歴史・文化・文芸・教育	前水辺の楽校推進協議会委員長、寺井町立図書館長
三田 薫子	歴史・文化・文芸・教育	作 家
米田 満	歴史・文化・文芸・教育	白山地域自然保護懇話会 座長

欠席者

玉井 信行	河川工学	金沢大学工学部 教授
富樫 一次	自然環境(昆虫類)	石川県ふれあい昆虫館 館長
高澤 基	報 道	北國新聞社 専務取締役

議事内容

- ・現地調査を踏まえた現状と課題について
 - これまでの意見・質問の整理
 - 手取川の治水計画について
 - 手取川扇状地の地下水位の動向
 - 水質の現状
 - 平成16年 手取川の濁水の現状
 - 河道内の植生の管理について
 - 土砂動態の現状

議事速報

【主な意見】

北陸地方の特性として洪水期まで残雪があることがある。そのような状況を想定し、残雪の融雪の影響を考慮した治水計画のあり方について検討が今後必要。
霞堤の現況の治水機能について検討すること。
魚類の生息環境にも配慮した、自然にやさしい工法もとり入れられたい。
樹木だけではなく、草本も含めた植生管理についても言及されたい。
手取川ダム等に堆砂している土砂の量や質、海に流れていく土砂量等を踏まえ、土砂動態を整理しておくこと。
河道の河床低下と地下水位の変化の相関についても整理しておくこと。
地下水の流向や影響範囲の調査手法も今後の課題。
水利用の取排水経路と水量を踏まえて、手取川の水質の現状を整理すること。

以 上

お問合せ先

国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所

調査第一課長 二 俣（ふたまた）

TEL 076-264-8800(代) (内線)351